



## 被爆75年 年頭から署名にダッシュ!



**兵庫県原水協** ◇兵庫労連に宣伝車の出動を要請、神戸市被爆者の会の立川会長、新婦人の荻野事務局次長、県原水協の梶本事務局長がマイクで訴え。「ヒバクシャ国際署名」を訴えるとともに、米国のイラン、イラクでの軍事攻撃をきびしく批判。カナダ、兵庫労連事務局長ら2人、新婦人事務局長など4人はじめ民医連、平和委員会、日中友好協会、AALA 連帯委、安保破棄実委、共産党などから16人が参加し、「ヒバクシャ国際署名」を訴えました。カナダ、インドなどの10人の外国人はじめ43人から署名が寄せられました。

### 姫路市原水協

◇山陽姫路駅前で年初の「6・9行動」

で「ヒバクシャ国際署名」と被爆者救援募金への協力を訴えました。森ゆき子、苦瓜かずしげ両姫路市議含め10人が参加しました。松本会長らは「生物兵器や化学兵器は、すでに禁止されているのに、もっとも残虐な核兵器は禁止されていません。核兵器と人類は共存できません」と訴えました。これまでハンセン病療養所に入所されているHさんから届けられている署名は、今回も55筆届き、合計212筆になりました。



**垂水区**◇10人で行動し、核兵器禁止署名67筆、憲法署名21筆があ

つまりました。ある女性は「トランプはたいへんなことした。平和があふない」「核兵器が使われたら大変」と署名。

**灘区**◇年が変わり初めての行動はJR六甲道駅で。署名21筆が寄せられました。(写真は灘区原水協の荒金さんが作成した「イランで戦争するな」のパッチワークキル)。

**西宮市**◇(樋口・西宮市議のフェイス・ブックから) /6日の夕方、原水爆禁止協議会西宮の会が、広島に原爆を落とされた日にちなんで毎月おこなっている

「6の日宣伝」に参加してきました。みんなで「ヒバクシャ国際署名」という、核兵器の禁止を求める署名を集めたわけですが、原水爆ってほんとにいらないですよ。人間は一体いつまでこのようなものを持ち続けるのでしょうか。



写真右上/パッチワークキルト、右下/西宮の会の行動

## 県被団協が団体要請行動

☆1月7日、兵庫被団協は岡邊理事長、鹿島副理事長、立川事務局長、副島同次長が年始のあいさつとあわせて、署名用紙を諸団体に届け、取り組みを要請して回りました。神戸ムスリムモスク(神戸市中央区)へは、英語版の署名用紙と県被団協と県内各地域の会会長連名の「お願い」を添えて要請。対応したムハマド ジャファルさんらは、「お願い」を最後まで読んだあとで、「署名欄はたくさんあるが1人でもいいのか」「アメリカが核兵器で脅かすなかでそれへの対抗という考えもあるのでは」などと質問。これに答えて「すべての核兵器をなくすしかない」と訴えると大きくうなずき、「イスラムは平和の宗教です」と強調され検討を約束、モスクの見学もさせていただいた。兵庫県看護連盟(自民党支持の政治連盟。前回、看護協会を訪ねるつもりで間違えて訪問)も再訪。非常に好意的で、「役員だけでも署名を回す」ことを約束してくれました。兵庫県神社庁や日本基督教団兵庫教区などにも要請に回りました。(県被団協作成の「お願い」連名者=県被団協岡邊理事長、明石市岸本会長、丹有葛下会長、伊丹市小泉会長、高砂市千田会長、西宮市武居会長、神戸市立川会長、豊岡市谷口会長、芦屋市千葉会長、県被爆二世の会中村会長、播磨稲美中山元会長、太子町原田会長、播磨稲美平岡元会長、加古川市福田会長、県被団協古石顧問、県被団協水野元副理事長、尼崎市山家会長、赤穂市山崎会長)

